

日本共産党品川区議会議員

菊地貞二

週刊区政ニュース第356号

08年03月30日発行

寄せられたアンケートから…

「後期高齢者医療制度はひどい」



アンケートに添えられた「意見を紹介します。高齢者医療制度」：(18歳・女性) 「後期

日本共産党は後期高齢者医療制度の中止を求めています

前年のアンケートと大きく違いが出ているのが「くらし向き」です。「きびしくなった」という方が圧倒的に増加しています。政府が進めてきた構造改革と規制緩和の中で、所得格差と貧困、

(みなさんは)まだ18歳の私にとっては関係ないことと思うかもしれませんが、でも祖母が言っていました。「また年金から引かれてどんどん減っていく」って、いままで私の学費で(年金が)無くなったりして大変だったらいいし、今年、卒業でき

くらし切り捨ての流れが強まっていることを示しています。



たから良かったけど去年から始まっていたら所得の低い私たちはどうくらししていたでしょうか。近所の高齢者は年金ぐらしの人ばかり。私はひどい(制度)と思います。区議団の人にお願いがありません。老人ホームをたくさん建ててください。高齢者が安心して暮らせる施設や在宅サービスの強化は出来ないのでしょうか？ 私は高校生活のなかで進路選択の際、大学にいきたかったけど家族

みんなの願いです

青年雇用の改善 高齢者福祉の充実

日本共産党区議団のアンケート活動に多くの方々から返信が届けられています。まだ区内全域での配布が終わっていないことから統計は出せませんが届けられたアンケートの内容をご紹介します。(前号の続きは次号掲載)

のことを考え就職を選びました。(老人ホームの仕事) 資料で品川

の特養や老健、デイサービス、軽費老人ホームなどの施設が少ないのにビックリしました。

結局、大田区の施設に決まりましたが、なんと品川区にはないのかと思っ

ています。ぜひ、みなさんの力でたくさん施設をつくってほしいと思います。みなさんなら出来ると思っ



あなたと一緒に政治を変えます力をかしてください

もっと長いお手紙でしたが抜粋記事にしてしまいました。ごめんなさい。

後期高齢者医療制度は、75歳という年齢を重ねただけで国保や健保から追い出し別枠の

制度に困り込み、負担増と給付減を強いるという世界でも類例のない高齢者イジメの医療差別制度です。受けられる検診を制限し、保険料は2年ごとに改



れ、後期高齢者の数に応じて、自動的に引きあげ、年金から天引き。払えなければ、従来の制度ではおこなって

なかつた保険証取り上げ、病院窓口で10割の負担です。日本共産党は後期高齢者医療制度による、無慈悲な保険料取り立て、高齢者の切り捨てを絶対

に許すわけにはいきません。介護の充実もご意見の通りです。品川区の特別養護老人ホームは572床。入所を希望する方は半年ごとの調整会議にかけられますが待機者は448名。

私たちは議会のあらゆる場面で区の姿勢を追究し、区民の皆さんと運動に取り組んできました。あなたと一緒に高齢者福祉を充実させるために奮闘してまいります。



無料法律相談会 (生活相談は随時)

ところ すすらん通り事務所

日時 4月18日 (金)

午後6時～8時



電話予約は03-5742-0001、お問い合わせは03-5742-0002